

教 保 第 84 号
令和7年4月22日

各市町村教育委員会教育長
各 幼 稚 園 長
各 小 ・ 中 学 校 長
各 県 立 学 校 長
各 教 育 事 務 所 長

殿

沖縄県教育委員会
教育長 半嶺 満
(公印省略)

児童生徒等の登下校時の安全確保について（依頼）

みだしのことについて、令和7年4月1日付け事務連絡で文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課から別添のとおり依頼があります。

つきましては、別添資料を御確認の上、交通ルールの遵守や安全な道路の横断の仕方、通学路の危険個所の把握・周知等、効果的な安全教育・安全管理の徹底による児童生徒の安全確保に努めていただきますようお願いいたします。

また、本県において、ひき逃げ事案や児童生徒の自転車による接触事故が増えております。事故にあった際の対応方法や、児童生徒が加害者にならないための指導も合わせてお願い申し上げます。

各市町村教育委員会におかれましては、貴所管の幼稚園、学校への周知をお願いいたします。

各教育事務所におきましては、本件のことについて御承知おき下さい。

【問い合わせ先】

県教育庁保健体育課 学校安全・給食班
(幼小中学校) 高良 大輔
(県立学校) 仲里 正和
TEL : 098-866-2726

令和 7 年 3 月 27 日
警 察 庁 交 通 局

令和 7 年春の全国交通安全運動の実施について

1 実施期間

4 月 6 日(日)から同月 15 日(火)までの 10 日間

2 主催

内閣府・警察庁等 10 府省庁、都道府県、市区町村、関係 13 団体

3 運動重点

- こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底

4 運動重点に関連する交通事故の特徴等

- (1) 「こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践」関係
 - 令和 2 年から令和 6 年の交通事故死傷者数の状態別合計において、歩行中では 7 歳が最も多く、自転車乗用中では 16 歳が最も多い
 - 児童の歩行中の死亡・重傷事故は、4 月から 6 月にかけて増加
 - 歩行中の事故の通行目的別では、幼児は「遊戯」、児童は「下校」が最も多い
 - 幼児・児童の歩行中の死亡・重傷事故は、「飛出し」が多い
- (2) 「歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進」関係
 - チャイルドシートの使用率は、年齢が上がるとともに低下
 - チャイルドシート不使用時の致死率は、使用時の約 3.5 倍
 - シートベルト非着用時の致死率は、着用時の約 15 倍
- (3) 「自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底」関係
 - 児童・生徒の自転車事故は、年初から 6 月にかけて増加傾向
 - 自転車事故の通行目的別では、小学生は「訪問」、中学生・高校生は「登校」が最も多い
 - 自転車乗用中死者の致命傷の約 5 割が「頭部」

5 警察における重点的取組

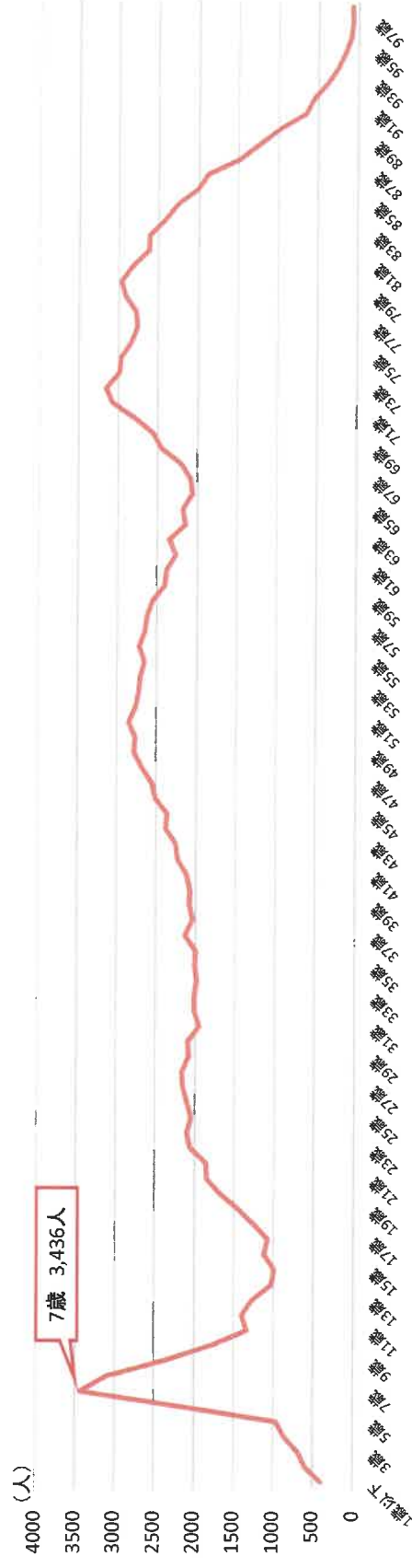
- こどもを始めとする歩行者優先意識の徹底と正しい横断方法についての広報啓発など、歩行者の安全確保に向けた取組を強化
- ながら運転等の根絶に関する広報啓発を推進するとともに、シートベルトとチャイルドシートの適切な使用を促す広報啓発を推進
- 自転車及び特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守を促進するための広報啓発を推進

○ 状態別年齢別死傷者数

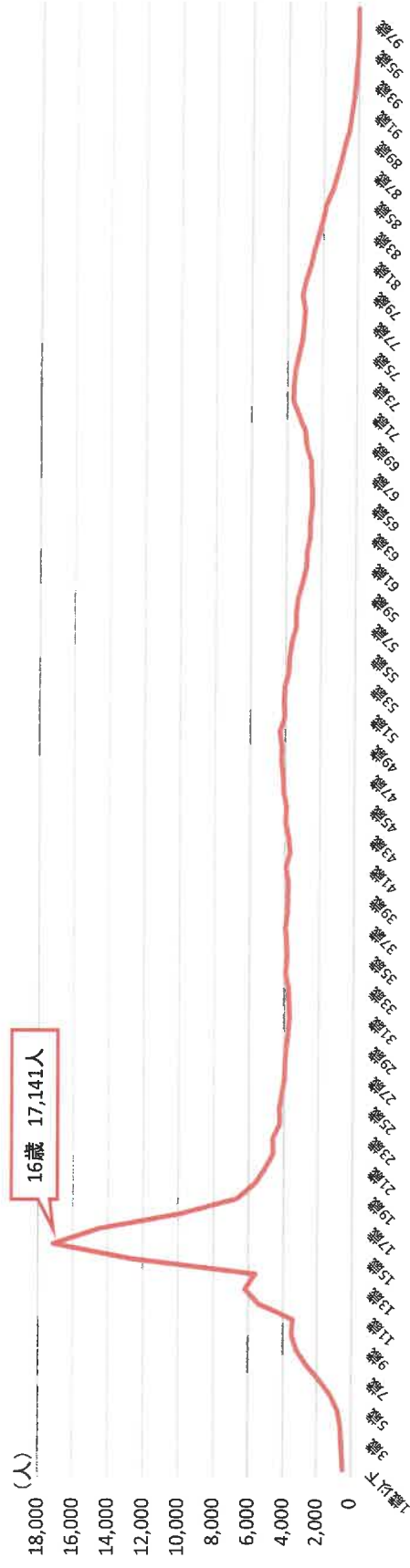
- 歩行中は7歳、自転車乗用中は16歳がそれぞれ最多

状態別年齢別死傷者数【令和2年～6年合計】

〈歩行中〉



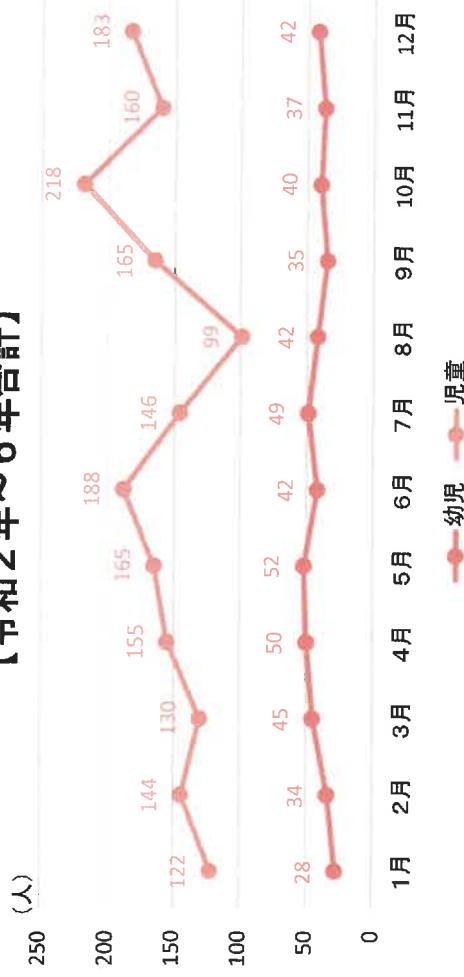
〈自転車乗用中〉



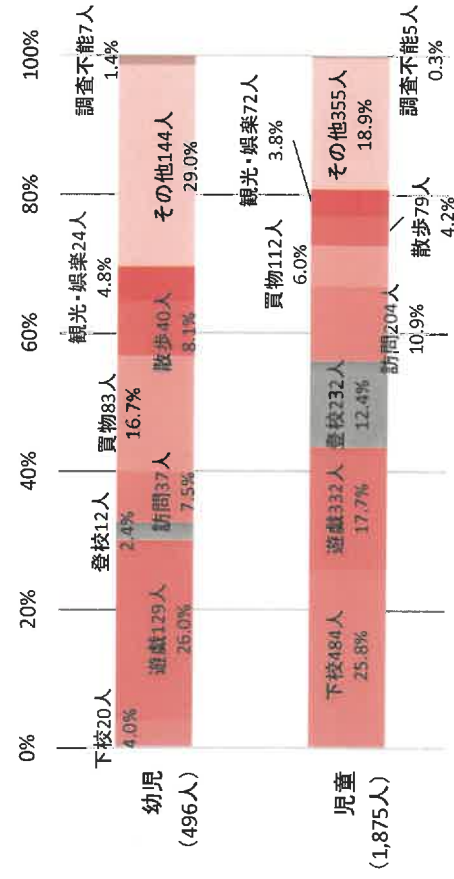
○ 幼児・児童の歩行中の事故

- 月別では、幼児は大きな差は見られないが、児童は4月から6月にかけて増加する
- 通行目的別では、幼児は「遊戯」、児童は「下校」が最多 ●法令違反等別では、児童・幼児とも「飛出し」が多い

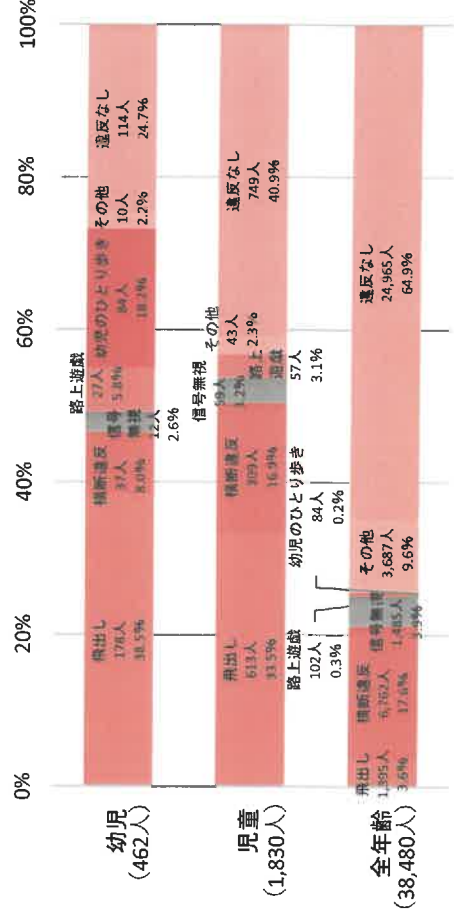
歩行中幼児・児童の月別死者・重傷者数
【令和2年～6年合計】



歩行中幼児・児童の通行目的別死者・重傷者数
【令和2年～6年合計】



歩行中幼児・児童（第1・第2当事者）の法令違反等別
死者・重傷者数【令和2年～6年合計】

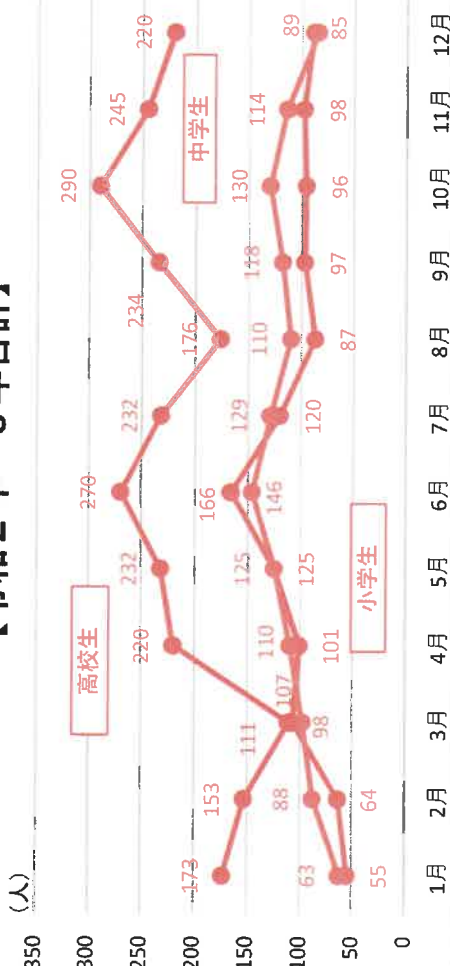


○ 児童・生徒の自転車事故

- 児童・生徒の自転車事故は、年初から6月にかけて増加する傾向
- 通行目的別では、小学生は「訪問」が最多、中学生・高校生は「登校」が最多 ● 死者の約5割は「頭部」に致命傷

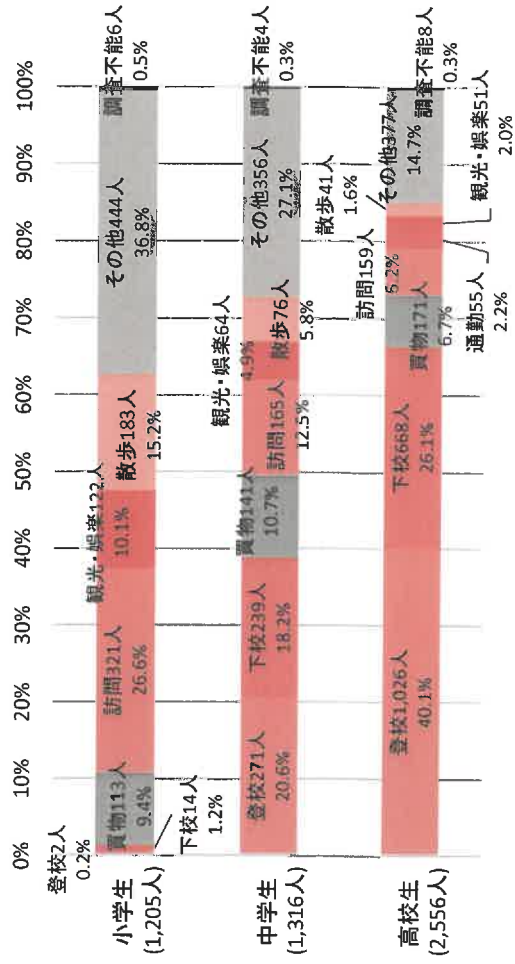
児童・生徒の月別自転車乗用中死者・重傷者数

【令和2年～6年合計】

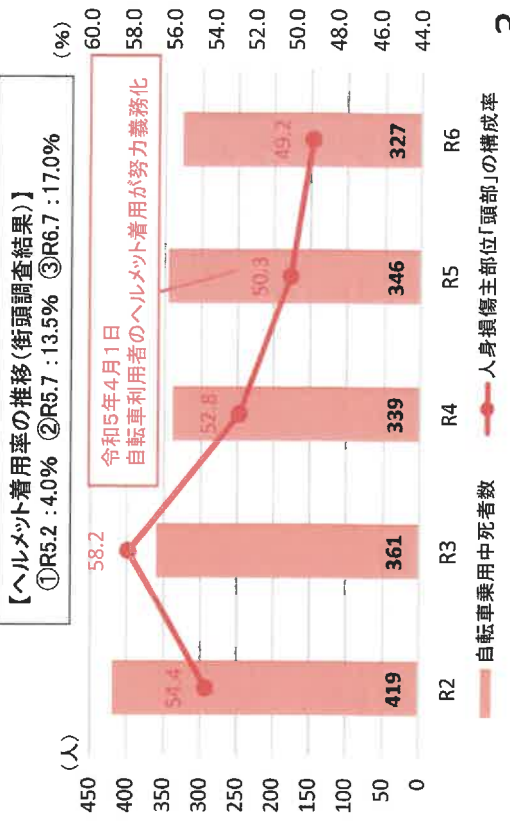


児童・生徒の通行目的別自転車乗用中死者・重傷者数

【令和2年～6年合計】



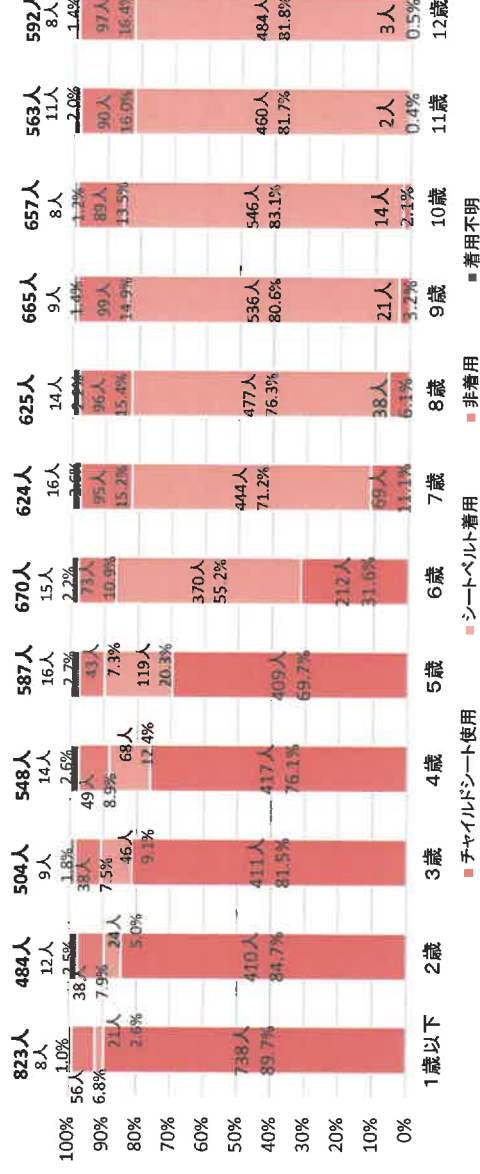
〈参考〉自転車乗用中死者数と人身損傷主部位「頭部」構成率の推移



○ チャイルドシート・シートベルト

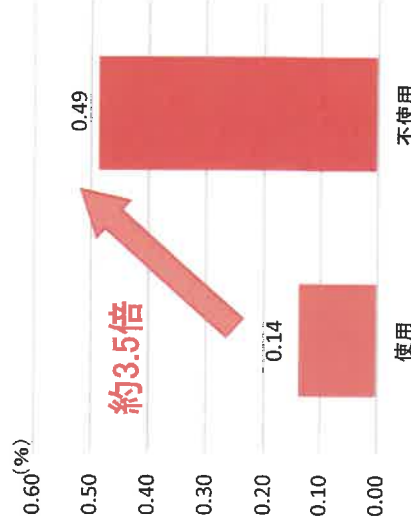
- チャイルドシート使用率は年齢とともに低下
- チャイルドシート不使用時の致死率は着用時の約15.0倍

自動車同乗中幼児・児童のチャイルドシート使用状況別死傷者数 【令和6年】



(注) 「幼児」とは6歳未満の者、「児童」とは6歳以上12歳以下の者をいう。以下同じ。

自動車同乗中幼児のチャイルドシート使用有無別 致死率比較【令和2年～6年合計】



(注) : 「致死率」とは、死傷者のうち死者の占める割合をいう。以下同じ。
・ 「不使用」とは、シートベルトを使用していた者及びチャイルドシート・シートベルトいずれも使用・着用していなかった者をいう。

自動車乗車中のシートベルト着用有無別 致死率比較【令和2年～6年合計】

